

ひと

1日73万のページビューを稼いだ天文サイトの運営者

つるはま よしはる
鶴浜 義治 さん(45)

天文観測サイト「つるちゃん
プラネタリウム」を運営してい
る。金環日食の5月21日、サイト
内に設けた「日食ナビ」のページ
ビューは73万5千を超えた。

「太陽はどっちから欠けるの」
「次はいつ見られるの」。一番知
りたいことに答えてくれるのが人
気の秘密。無料でダウンロードで
きるプラネタリウムソフトは、天
文台や学校でも使われている。

大阪府豊能町育ち。子どものこ
る天体望遠鏡で見た木星のしま模
様に魅せられた。布団をかついで
屋根に上がり、毛布にくるまって
夜空を眺めた。大阪大で情報工学
を専攻。彗星の軌道計算の権威、
中野圭一さん(64)の本と出会い、
天文とコンピュータの二つの世

界をつなぐと思いついた。

システムエンジニアとして大阪
府内の民間企業で働きながら、2
001年にサイトを開設した。天
体望遠鏡の選び方から将来の天文
現象までお役立ち情報を満載。自
身が撮った写真を公開する天文サ
イトが多い中で、異色の存在だ。

素人目線を忘れず、寄せられた
質問には必ず答える。おとめ座の
1等星スピカを名乗って星空の見
方を探ねてきた女性が、妻となっ
た久美子さん(52)だ。

この6日には金星の太陽面通過
がある。「星を眺めていると、自
然と一体化して心が洗われる気が
します」。兵庫県伊丹市の自宅か
ら、きょうも星空へと人を誘う。

文・日比野容子 写真・諫山卓弥

